

令和  
2年度

購入費用の80%  
を補助します！  
ただし上限があります

# 業務改善助成金のご案内

卸・小売業

生産性向上のための設備投資等をして、労働者の時給を引き上げた事業主に設備投資等の費用の一部を助成します。

## 設備投資って？

手作業で行っていた作業について機械を導入することによって業務が効率化する、などの投資が該当します。  
詳しくはこの資料の中をご覧ください



## チェックしてみましょう

- 中小企業（企業単位）である
- 助成対象とする事業場（本店、支店、工場等）規模が100人以下
- 事業場内の最も低い賃金が**時給793～823円**（R2.10.3～）  
※今後、岩手県の地域別最低賃金が改定された場合は、対象となる時給が変更となります。
- この労働者の**時給を25円以上引き上げ**たい
- 賃金を引き上げるために生産性向上を図るような**設備投資**を考えている



## 業務改善助成金の活用をご検討ください！

お気軽にご相談ください

令和2年度申請締切は  
令和3年1月29日です

岩手労働局 雇用環境・均等室 TEL019-604-3010

R2.11



# 業務改善助成金について

- 中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引き上げを図るための制度です。
- 生産性向上のための設備投資（機械設備、POSシステム等の導入）や人材育成に係る研修、業務改善のためのコンサルティングなどを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、設備投資などにかかった費用の一部を助成します。

## 【支給対象】

対象となるのは、事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が30円以内及び事業場規模100人以下の事業場の中小企業・小規模事業者です。

## 【助成額】

事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、生産性向上のための設備投資等にかかった費用に助成率を乗じて算出した額を助成します（千円未満端数切捨て）。（※）事業場内最低賃金を引き上げる労働者の人数によって、助成の上限額が定められていますので、ご注意ください。

（※）この冊子で取り上げた事例は平成30年度のものであり、助成額や助成対象事業場、引上げ額等に現行の制度と異なる部分があります。

コース区分	引上げ額	引き上げる労働者数	助成上限額	助成対象事業場	助成率
25円コース	25円以上	1人	25万円	以下の2つの要件を満たす事業場 ・事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が30円以内 ・事業場規模100人以下	【事業場内最低賃金850円未満】（※1） <b>4／5</b> 生産性要件を満たした場合は <b>9／10</b> （※2）
		2～3人	40万円		
		4～6人	60万円		
		7人以上	80万円		
30円コース	30円以上	1人	30万円	【事業場内最低賃金850円未満】（※1） <b>4／5</b> 生産性要件を満たした場合は <b>9／10</b> （※2）	【事業場内最低賃金850円以上】（※1） <b>3／4</b> 生産性要件を満たした場合は <b>4／5</b> （※2）
		2～3人	50万円		
		4～6人	70万円		
		7人以上	100万円		
60円コース	60円以上	1人	60万円	【事業場内最低賃金850円以上】（※1） <b>3／4</b> 生産性要件を満たした場合は <b>4／5</b> （※2）	【事業場内最低賃金850円以上】（※1） <b>3／4</b> 生産性要件を満たした場合は <b>4／5</b> （※2）
		2～3人	90万円		
		4～6人	150万円		
		7人以上	230万円		
90円コース	90円以上	1人	90万円	【事業場内最低賃金850円以上】（※1） <b>3／4</b> 生産性要件を満たした場合は <b>4／5</b> （※2）	【事業場内最低賃金850円以上】（※1） <b>3／4</b> 生産性要件を満たした場合は <b>4／5</b> （※2）
		2～3人	150万円		
		4～6人	270万円		
		7人以上	450万円		

（※1）25円コースは、事業場内最低賃金が850円未満の事業場のみが対象となります。他のコースは47都道府県が対象となります。

（※2）生産性要件については、次ページを参照して下さい。

## 【支給要件】

1. 賃金引上計画を策定すること  
事業場内最低賃金を一定額以上引き上げること（就業規則等に規定）
2. 引上げ後の賃金額を支払うこと
3. 生産性向上に資する機器・設備の導入やコンサルティングなどを行うことにより業務改善を行い、その費用を支払うこと  
ただし
  - (1) 単なる経費削減のための経費、
  - (2) 職場環境を改善するための経費、
  - (3) 通常の事業活動に伴う経費（事務所借料等）、等は除きます。
4. 解雇、賃金引下げ等の不交付事由がないこと  
(※) その他、申請に当たって必要な書類があります。

## 【生産性要件】

生産性を向上させた企業が業務改善助成金を利用する場合、助成率が割増しになります。生産性要件は以下のとおりです。

1. 助成金の支給申請等を行う直近の会計年度における「生産性」が、その3年前に比べて6%以上伸びていること、またはその3年前に比べて1%以上（6%未満）伸びていること  
(※) 「生産性要件」の算定の対象となった期間中に、事業主都合による離職者を発生させていないことが必要です。  
(※) 「1%以上（6%未満）」伸びている場合は金融機関から一定の「事業性評価」を得ている必要があります。
2. 「生産性」は次の計算式によって計算します。

（一般企業の場合）

$$\text{生産性} = \frac{\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} + \text{動産・不動産賃借料} + \text{租税公課}}{\text{雇用保険被保険者数}}$$

※詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。



業務改善助成金に関するお問い合わせは、事業場を管轄する各都道府県労働局雇用環境・均等部（室）へお願いします。

# 業務改善助成金業種別事例集（卸売業・小売業編）

業務改善助成金は、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することで、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。

具体的な業種別の導入事例として、今回は「卸売業・小売業」における生産性向上の設備投資の例をご紹介します。※業種は日本標準産業分類に基づく

## POSレジシステム、自動釣銭機等

### 【生産性向上の効果】

#### ○導入前

入金・売上の集計や、領収書、釣銭支払等、作業時間が長くなっていた。

#### ○導入後

清算業務が自動化され時間短縮されることにより、顧客の回転率も向上した。

導入事例	事業内容	当助成金を利用した事業場数
POSレジシステム	玩具小売 自転車販売 食料品小売業 等	計8事業場
自動釣銭機	日用品・雑貨・園芸等 小売 一般食品小売	計5事業場

## フォークリフト・特種用途自動車類（それに準ずるもの含む。）

### 【生産性向上の効果】

#### ○導入前

荷物の運搬や積み下ろし作業に時間がかかっていた。

#### ○導入後

一度に大量の重量物等を運ぶことができ、作業時間が短縮した。

導入事例	事業内容	当助成金を利用した事業場数
フォークリフト	農業機械・自動車部品卸売業 建設資材卸売業	計2事業場
運搬用冷凍車	食肉卸売業	1事業場

## 調理器具類

### 【生産性向上の効果】

#### ○導入前

仕込みや調理等作業に時間がかかり、他の作業に手が回らず製造できる量も少なかった。

#### ○導入後

仕込み時間・調理時間が短縮され、一度に製造できる量も増えて効率が上がった。

導入事例	事業内容	当助成金を利用した事業場数
ミキサー	菓子・パン小売業 等	計3事業場
焙煎機	自家焙煎コーヒー豆販売	1事業場
食品裁断機	菓子・パン小売業	1事業場

## その他

導入事例	事業内容	当助成金を利用した事業場数
食品卸売システム 会計・仕入・販売システム 顧客管理システム等	食肉卸売業 農産物資材卸売業 食料品小売業 等	計36事業場
受発注機能付きホームページ	花・植木小売業 珈琲喫茶店 等	計4事業場
経営コンサルタント	中古機器販売 自動車小売	計2事業場
人材育成・教育訓練	調剤薬局 等	計2事業場
真空包装機	茶類小売業	1事業場

別業種でも参考になりそうな  
事例は次ページから掲載

## 事例① ケーキ作りのための自動攪拌機、絞り出し機の導入による製造工程の効率化

### 企業概要

【所在地】静岡県 【従業員数】41人

【事業内容】菓子製造販売業

【課題と対応】職人が手作業で行っていたケーキ生地の製造作業工程を誰でもできるようにするために、設備投資による業務効率化を検討してきた。

ケーキ生地の攪拌作業や生地絞り作業は、熟練の職人だけが手作業で行っている状況でした。そこで、助成金を活用して自動攪拌機、絞り出し機を導入しました。

ケーキ作りの製造工程を効率化したい



1日当たりの製造時間が100分短縮



社長

<独自の工夫>  
人事制度の一環として、ポジションごとにローテーションで持ち場を変え、一つ一つの作業工程を丁寧に教え、技術の定着を図っている。

### 実施内容

職人による高度な技術が必要であった攪拌作業や絞り出し作業を、自動攪拌機と絞り出し機を導入することで、経験の浅い者でも熟練者と同様の作業ができるようになった。

### 成果

ケーキ作り作業工程の効率化により生産性が向上し、16人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

### 助成金活用のきっかけ



コンサルタントからの提案。

## 事例2

### 給与・勤怠システムの導入による給与計算の自動化・作業時間の短縮

#### 企業概要

【所在地】大阪府 【従業員数】29人

【事業内容】情報処理・情報システム業

【課題と対応】手作業で行っていた給与計算等に時間がかかるため、システム導入による業務効率化を検討してきた。

業務拡大に伴う人員の増加にもかかわらず、給与計算を手作業で行っていたため、総務担当者の作業が純増している状況でした。そこで、助成金を活用して給与関係システムを導入しました。

給与計算業務を効率化したい



社長



給与計算にかかる作業が月に2日から1日に短縮



＜独自の工夫＞  
休暇や残業をパソコン上で申請から承認まで行えるシステムと連動可能な給与計算システムを同時に導入したことで、電話やメールで承認を得ることもあった勤怠管理と、給与計算プロセスの双方を簡略化できた。

#### 実施内容

給与関係システムを導入することで、作業時間が約半分に減り、給与計算や金融機関への振込事務のミスも削減することができた。



#### 成果

給与関係システムの導入により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

#### 助成金活用のきっかけ



社会保険労務士からの提案。

# 業務改善

## 事例③ 食器洗浄機・ロボット掃除機の導入による清掃作業時間の短縮

### 企業概要

【所在地】和歌山県 【従業員数】29人

【事業内容】宿泊業

【課題と対応】施設内の清掃時間（食器洗浄業務時間等）を短縮するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

従業員が各棟でばらばらに食器を手洗いし、窓や床の清掃も従業員の手作業で行っている状況でした。そこで、助成金を活用して食器洗浄機・窓用ロボット掃除機・床用ロボット掃除機を導入しました。

清掃業務に費やしている時間を効率化したい



社長



食器洗浄で230分、窓清掃で50分、  
床掃除で20分の作業時間短縮

<独自の工夫>  
来館人数の増減に対応して営業日や営業時間を変更することで、従業員の残業時間を減らしている。さらに、光熱費節約のため、電力契約先の見直しを行った。

### 実施内容

食器洗浄機・窓用ロボット掃除機・床用ロボット掃除機を導入したことにより、洗浄・清掃にかかる時間を短縮し、その短縮した時間を電話対応やフロント対応等のフロント業務に充てることができ、業務の質向上につながった。

### 成果

清掃業務時間の短縮により生産性が向上し、10人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

### 助成金活用のきっかけ



社会保険労務士からの提案。

## 事例④

### マニュアル作成ソフト導入による保険事務スキルの統一化

#### 企業概要

【所在地】徳島県 【従業員数】7人

【事業内容】保険代理業

【課題と対応】保険事務を行うにあたり、ベテラン従業員のノウハウを各従業員へ効率的に浸透させる方法を検討してきた。

社内にわかりやすいマニュアルがなく、若手従業員がベテラン従業員に、度々作業手順を教えてもらっている状況でした。そこで、**助成金を活用してマニュアル作成ソフトを導入しました。**

ベテラン従業員のノウハウをマニュアル化して、  
社内へ浸透させたい



代表者



若手従業員の作業時間が25%～50%短縮

＜独自の工夫＞  
業績による歩合を導入してあり、努力した人が報われる仕組みのため、様々な制度について従業員自身が業務改善を検討するといった社風が根付いている。

#### 実施内容

自分が対応したことがない作業で手順が分からぬ場合でもマニュアルですぐに確認ができるため、社内のスキルが統一化され、お客様に対して誰が対応しても同じ質のサービス提供が可能となった。

#### 成果

保険事務作業時間の短縮により生産性が向上し、2人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を89円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

#### 助成金活用のきっかけ



コンサルタントからの提案。

## その他の業種別活用事例

事業内容	取組概要
養蜂業	顧客管理ソフトの導入により、かかってきた電話番号からパソコン画面で顧客情報が確認でき、電話応対時間が短縮した。
情報通信業	プロジェクト管理ツールと映像編集ソフトの導入により、情報共有の一元化と複数人の並行作業が可能になり、確認や制作に要する時間が短縮した。
旅客運送業	マットクリーナー、車両整備用リフト、ガラスコーティングの導入により、清掃・整備作業の効率化や顧客満足度の向上ができた。
倉庫業	フォークリフトの導入により、安全性と作業スピードが向上し、従業員の負担も減らすことができた。
インターネット通信販売業	商品ページのテンプレート化を行い、商品ページの更新作業が月30時間から20時間に短縮した。
造園土木工事業	芝整備機の導入により、手作業で行っていた芝生整備作業時間が約15%短縮した。
婚礼衣装レンタル販売業	予約管理ソフトの導入により、予約管理に要する時間が短縮し予約の重複によるミスもなくなった。
獣医業	内視鏡検査機器の導入により、1回当たりの検査時間が6時間から1時間程度に短縮した。
懐石・仕出し業	コンサルタントの支援により、「予約（発注）カート機能」や「クレジットカード決済機能」を備えるホームページを作成し、注文間取業務、請求・領収業務に要する時間がそれぞれ30%、22%短縮した。
温浴業	ネットワークカメラ、トランシーバー等の導入により、館内の見回りや指示の伝達等に要する時間が短縮した。
幼稚園	ICカードタイプの電子タイムレコーダーの導入により、勤怠時間の集計作業が月2時間から30分程度に短縮した。
通所介護・訪問医療	介護支援ソフトの導入により、介護記録のデータ入力業務が1人1日約30分、請求業務が月16時間から8時間に短縮した。
食肉加工業	カートに乗せたままデジタルデータとして記録できる計量機の導入により、計量回数が減り、作業時間が半分以下に短縮した。
警備業	金銭等の精査室を5階から2階へレイアウト変更したことにより、移動時間が半分以下に短縮した。

業務改善助成金のより詳細な助成事例については、厚生労働省のHPに掲載されています。

